

えともっ子



令和6年 3月15日 3月号

松江市立恵曇小学校 校長 濵岡 宏行

TEL 82-0065 FAX 82-0931 E-mail:etomo-e@city.matsue.ed.jp

いよいよ令和 5 年度が終わろうとしています。本年度も保護者の皆様と地域の皆様のご協力により教育活動が充実したものになったと喜んでおります。この一年間でそれぞれ心も体も成長したなぁと思える子どもたちでした。19 日には卒業式が行われ、6 年生 13 名の子どもたちがこの学び舎を巣立っていきます。さみしい半分、新しいステージでの活躍を期待している自分もいます。6 年生の子どもたちは、この恵曇で学んだ力を中学校でも十分に発揮してくれると思っています。

また、すぐ4月には7名の新一年生を迎え、令和6年度がスタートします。保護者や地域の皆様には引き続き本校に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

6 年生を送る会

2月22日に、6年生を送る会を実施しました。恵曇っ子の様子をぜひ見ていただきたいと思い、地域・保護者の皆様にも公開させていただきました。子どもたちは、それぞれの学年ですばらしいメッセージを送りました。6年生を送る会は次期リーダーとして、絶対に成功させようと5年生も大活躍しました。学級便りより紹介します。



1年生は緊張してドキドキしたようですが、呼びかけや恵曇っ子ダンス、肩たたきをしました。当日、肩たたきの音楽が出ず、アカペラで肩たたきの歌を歌うというハプニングもありましたが、かわいく歌えました。



3年生は今流行りの「マッシュ」というア 番になると心臓がバ も、みんながいるか ナナリカ 見がになっ



ふは、すべて子どもたちが相談して考え、

たくさん練習をしてきた4年生です。

2年生の出し物の番になると心臓がバクバクしました。でも、みんながいるから、自信をもってできました。最後にわっこを作って6年生を送り出しました。ぼくは、とてもよい送る会になったなぁと思いました。(児童作文より)



4年生は、「イングリッシュ隊」「クイズ隊」「なわとび隊」の3つのチームに分かれて発表しました。それぞれのチームの内容やせり

少しずつ「6年生のために〇〇をしたい」と、6年生を中心に考えることができるようになり、人のために行動する姿が見られたのかなと思います。また、全体を見通しながら

5年生、全員の力を合わせて、成功させることができました。

6年生が「かふぇ ETOMO」を開催しました





6年生が8日(金)「カフェ ETOMO」を開催させていただきました。これは総合的な学習で、6年間、支えていただいた地域の方々に感謝の気持ちを伝えたいと開催したものです。学校運営協議委員の方々や地域の皆様のご協力により、恵曇集会所で開催することができました。

約30人の方々に集まっていただき、おもてなしをしました。学校運営協議委員会制度が始まり、地域の方々が学校運営に携わっていただけることは本当にありがたいことだと感じています。何よりも地域の方々に見守られて育てられていることを実感させていただきました。子どもたちは、自分たちの学んだ足跡を残すかのように、学習の成果を地域の皆様へ披露しました。学校での学習を、このような場で披露できたのは本当によい機会でした。子どもたちの感想を一部ですが紹介します。

- ・お父さんやお母さんが仕事を休んできてくれてとてもうれ しかったです。特におばあちゃんが私の版画や平和宣言を見 てなみだを流してまでよろこんでくれてカフェを開いてよか ったなと思いました。中学生になっても恵曇の町の子供とし て進んで地域の行事に参加したいです。
- ・今日はたくさんの方にありがとうを心こめて伝えられてこれからもこの町に住みたいなとより思いました。
- ・また、機会があれば「サンクスプロジェクト」だけでなく 地域の方が喜んでもらえるような活動をたくさんやっていき たいなと思いました。
- ・みなさんの笑顔が見られてほっこりしました。また機会があればやりたいと思いました。
- ・すごい人数で接客とかが大変だったけどその接客のおかげで地域の方とお話ができてよかったです。
- ・地域のみなさんが笑顔になってクッキーやお茶などを飲んでくれてうれしかったです。
- ・カフェがすごく人気があり楽しかったので次の6年生もやってほしいなと思いました。
- ・思っていたより気さくな方々でぼくも話しやすかったし、前よりもっと地域の方に近づけたのでうれしかったです。



ありがとう えともっこ 6年生!



イメージキャラクター 『えともっこ』